

「機能要件仕様書」記入要領

I. 必須機能

当市が想定する生成AIチャットボットサービスとして当然有すべき機能を「必須機能」(列F)として記載していますので、適合状況の記入に当たっての参考としてください。

II. 記入の仕方

- 1 機能要件に対するサービスの対応を「対応可否」(列G)に記入してください。

A : 標準対応	B : カスタマイズ	C : 非対応
----------	------------	---------

A～Cの各区分の考え方は、次のとおりです。

A : 標準対応 (無償)

標準サービス内容で記載の機能が実現できること、又はパラメータ設定により、当該機能の業務目的が十全に達成できること。

B : カスタマイズ (有償又は無償)

任意に選択できるオプション機能の導入やプログラムに手を加えることで機能が実現できること、又は当該機能の業務目的を達成すること。

C : 非対応

記載の機能を実現できないこと、当該機能の業務目的を達成できないこと。

- 2 カスタマイズ(B)により有償対応となる場合、「オプション・カスタマイズ概算費用」(列H)に要する費用を記入してください。これらの費用については、本RFIにおいて情報提供を依頼している概算費用の中にも当然含まれます。
- 3 非対応(C)の場合、実現不可能な理由を「備考」(列H)に記入してください。
- 4 機能要件の記載内容に不明瞭な点や齟齬があるため、仕様の詳細が把握できない場合、不公平等が生じている場合、その理由について「備考」(列H)に記入してください。
- 5 その他機能要件として追加すべきものについては、適宜、行を追加するなどして、具体の要件を記入してください。この場合において、当該機能を必要とする理由について「備考」(列H)に記入してください。